

2020年7月8日

宇宙理学メンバー・工学メンバー各位

宇宙航空研究開発研究機構

宇宙科学研究所長

ISAS が取得したミッションのデータ整備に関する共同研究提案募集について

ご存じの通り、長年にわたり、宇宙科学研究所(ISAS)は、大学共同利用機関として国内の大学と協力して、様々な宇宙科学プロジェクトを進めてきました。これら ISAS のミッションが取得したデータの多くは DARTS (<http://darts.isas.jaxa.jp>)から公開されていますが、それ以外にも、ISAS ミッション（衛星・探査機、気球、ロケットなど）が過去に取得したデータが大学等で保管されていて、それを整備・公開することによって、新たな成果創出が期待される例があると考えられます。そこで、以下の要領で、ISAS ミッションが取得したデータ整備に関する共同研究提案を募集します。

1. 背景

2016 度、所長からの諮問に対して、理工学委員会が「宇宙科学研究所が保有するデータの取り扱いに関する提言¹」を答申しました。その中で、所が宇宙科学コミュニティによるデータ整備・利用推進活動を支援することが要請されています。当提案募集は、その提言に沿ったものです。2019 年度までに当共同研究によって整備・公開されたデータの一覧は、付録 2 を参照してください。

なお、新規 JAXA プロジェクトに関わるデータ整備は、プロジェクトが主体となって実施することを念頭に、当公募によるデータ整備・公開事業は、今年度を含めて三年で終了する予定ですので、ご注意ください。

2. 公募要件

ISAS ミッション（衛星・探査機、気球、ロケットなど）が取得したデータの整備を、ISAS と大学（またはそれに準ずる機関）の共同研究によって実施します。ミッション固有の知識を持たない研究者でもデータを使えるように整備し、必要な文書やツールと共に、DARTS から公開します。最低限の整備が実施されて公開されているデータに対して、新たな付加価値を付けたりツールを開発したりして、科学成果創出を図るための研究も対象とします。本共同研究によって整備・開発されたデータやツールは、公開する必要があることに留意してください。

¹ http://www.isas.jaxa.jp/home/rigaku/member/inquiry/data/data_report.pdf

すでに提案者によって、ある程度のデータ整備が完了していて、共同研究終了後すみやかに公開できることを想定しています。また、場合によっては、ISAS ミッションのデータ利用促進・成果創出につながるような、ISAS 以外のミッション・機器によって取得されたデータ（JAXA 他本部のプロジェクトで取得された科学データを含む）の整備も対象とします。

共同研究に要する資金は、一件最大 50 万円とします。なお、稼働中の JAXA プロジェクトやワーキンググループ（WG）に直接関わるデータ整備については、当該プロジェクトや WG からの資金援助が困難な場合に限り、支援の対象とします。

共同研究実施のためには、ISAS 内の共同研究者（常勤職員）が必要ですが、提案時に決定していなくても構いません。その場合は、提案採択時に、科学データ専門委員会が共同研究者を推薦します。

3. 提出書類

添付するフォーマット（ワードファイル）を利用して、A4 一枚で提案書を作成してください。同じフォーマットを踏襲していれば、ワードファイルでなくても構いません。補足資料（A4 で 5 枚以下；様式問わず）を添付しても構いません。

4. 審査と選定

審査は宇宙科学研究所内の「科学データ専門委員会」にて行い、研究所会議承認を経て最終的に決定します。

5. 提出期限とその後の予定

提出期限：2020 年 8 月 31 日

以下に、昨年度の実績を参考に、その後の予定を示します。

採択通知発出：2020 年 10 月中旬

共同研究契約締結（JAXA 外の場合）：2020 年 11 月中旬

整備したデータ等の納入：2021 年 3 月末まで

共同研究報告書締め切り：2021 年 4 月中旬

6. 提出先

PDF ファイルをメール添付にて提出をお願いします。件名を「データ整備に関する共同研究提案」として、e-mail にて data@ml.isas.jaxa.jp 宛に送付してください。メール受領後 2 営業日で、提案書を受領したメールを返信します。万が一、返信がない場合は、次項の問い合わせ先まで連絡をお願いします。

7. 問い合わせ先

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所

科学衛星運用・データ利用ユニット、科学データ専門委員会事務局・吉野 良子

Tel: 050-3362-7407, e-mail: data@ml.isas.jaxa.jp

付録 1：共同研究契約締結についての留意事項

ISAS からの資金は共同研究契約を結んで、相手機関に移動します。そのためには共同研究者に 1 名以上 ISAS の研究者（常勤職）が必要で、相手機関の提案者も常勤職であることが必要です。また、共同研究契約を締結する相手機関は、次のいずれかに該当する必要があります。

① 前年度までに科学研究補助金を管理した実績があること。

② 省庁統一参加資格を有していること。

上記①～②に該当しない場合は、JAXA 独自の競争資格審査を行います。

付録 2：今までの共同研究によって整備・公開されたデータの一覧

これらの共同研究成果報告書は、<http://www.isas.jaxa.jp/home/rikou/data/reports/>にて宇宙理工学委員会メンバー向けに公開されていますので、参考にしてください。

2016 年度：

- (1) 「かぐや」搭載ハイビジョンカメラデータ（高知大学）
- (2) 「ひのとり」電離圏電子密度データ、JEM/GLIMS データ（北海道大）
- (3) 「さきがけ」惑星間空間磁場データ、軌道データ（東北工業大）
- (4) 「じきけん」、「おおぞら」、「あけぼの」プラズマ波動データ（東北大）
- (5) 「ぎんが」全天 X 線監視データ（立教大）
- (6) 気球搭載遠赤外線望遠鏡（BICE）データ（東京大）
- (7) ISS/IMAP データ（京都大）
- (8) 「かぐや」 γ 線分光計データ（神戸大）

2017 年度：

- (1) GEOTAIL, さきがけ, すいせい, ひてんの追跡データ(レンジ・ドップラデータ)の整備（宇宙研）
- (2) 「すざく」搭載硬 X 線検出器全天 X 線監視データの時系列データ整備（埼玉大）
- (3) 「ひのとり」太陽フレア軟 X 線輝線スペクトルのデータ整備（国立天文台）
- (4) 「すざく」搭載 XIS の改良版応答行列の作成と公開（大阪大）

2018 年度：

- (1) 「ぎんが」大面積比例計数管(LAC)解析ソフトウェアの維持(ISAS)
- (2) 「はるか」観測データ処理用補助データの DARTS システムへの移行(ISAS)
- (3) MAXI 放射線モニタのデータ公開(理研)
- (4) 「ひのとり」太陽フレア軟X線輝線スペクトルのデータ整備 (その 2) (国立天文台)

2019 年度：

- (1) 「ひのとり」SOX(太陽フレア軟X線輝線スペクトル)のデータ整備 (その 3) (国立天文台)
- (2) ISS 軌道で計測した高エネルギー電子スペクトルデータの整備 (JAXA 研究開発部門)
- (3) 観測ロケットで観測された電離圏電子密度データのデータベース化(東北大学)
- (4) はやぶさ ONC-W データ(ISAS)
- (5) 「ぎんが」全天X線監視装置および γ 線バースト検出器原データの公開 (東工大)

2020 年度「ISAS が取得したミッションのデータ整備」共同研究提案

提案名：		
共同研究代表者：	所属：	e-mail：
共同研究者（ISAS の職員を含むこと）：		
対象となるデータの説明：		
データ整備・保管の状況：		
データ整備・公開のために解決すべき課題と必要な措置		
データ整備・公開によって期待される成果：		
資金が必要な理由、金額と用途（最大 50 万円）：		
稼働中の JAXA プロジェクトや WG に直接関わるデータ整備であるか？その場合、当該プロジェクトや WG から資金援助を受けられない理由：		